



登録銘柄コード番号 6416

2009年3月16日

桂川電機株式会社

会社説明資料

(平成21年3月期第3四半期概況含む)

KIP Color 80



KIP 3100



image solution company

当資料をご覧いただくにあたって

注1) 当資料は、会社説明を目的としてのみ作成されたもので、証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、当社が発行する有価証券報告書等の財務資料をご覧いただいたうえで、投資家ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

注2) 本資料に掲載されている内容は、本資料作成日時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としており、将来の業績等は当社を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動など、様々な要因によって異なる結果と成り得るものでありますことをご承知おき下さい。

本説明資料の構成

この資料は次の事項により構成されています。

1. 平成16年3月期～平成20年3月期の業績経緯
2. 平成21年3月期第3四半期の連結業績の概要
3. 会社概要

過去業績データ（平成16年3月期～平成20年3月期）

平成16年3月期～平成20年3月期の当社業績の経緯は次のとおりです。

連 結

(単位:百万円)

期・年度 項 目	平成16年3月期 平成15年4月～平成16年3月	平成17年3月期 平成16年4月～平成17年3月	平成18年3月期 平成17年4月～平成18年3月	平成19年3月期 平成18年4月～平成19年3月	平成20年3月期 平成19年4月～平成20年3月
売上高	13,722	14,678	16,380	20,849	20,930
営業利益	994	1,406	1,722	2,620	2,635
経常利益	902	1,649	2,039	3,001	2,428
当期純利益	550	930	1,193	1,625	1,243
総資産	18,706	20,195	22,024	24,328	23,836
純資産	15,140	15,793	17,180	18,682	19,446

単 体

(単位:百万円)

期・年度 項 目	平成16年3月期 平成15年4月～平成16年3月	平成17年3月期 平成16年4月～平成17年3月	平成18年3月期 平成17年4月～平成18年3月	平成19年3月期 平成18年4月～平成19年3月	平成20年3月期 平成19年4月～平成20年3月
売上高	9,235	10,404	10,745	13,967	13,224
営業利益	530	848	824	1,483	720
経常利益	489	1,064	1,077	1,708	380
当期純利益	210	483	516	804	184
総資産	17,562	18,119	19,511	20,134	19,498
純資産	14,719	14,955	15,342	15,928	15,825

平成 21 年 3 月期 第 3 四半期の連結業績の概要

本第 3 四半期の連結業績の概要は次のとおりです。

(1) 連結業績の状況 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)

(単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
21 年 3 月期第 3 四半期	13,070 (△16.4)	1,181 (△47.2)	833 (△66.9)	249 (△82.5)
20 年 3 月期第 3 四半期	15,626 (1.9)	2,237 (6.8)	2,516 (4.9)	1,424 (△0.0)
(参考) 20 年 3 月期	20,930 (0.4)	2,635 (0.6)	2,428 (△19.1)	1,243 (△23.5)

(注) 売上高、営業利益等における括弧内は、対前年同四半期増減率を示します。

(2) 第 3 四半期総括

当第 3 四半期において、当社グループが属する業界では、依然激化している価格競争に加え、景気の悪化に伴う設備投資の見直しなどの影響により、大判型デジタル機器の需要は低迷いたしました。

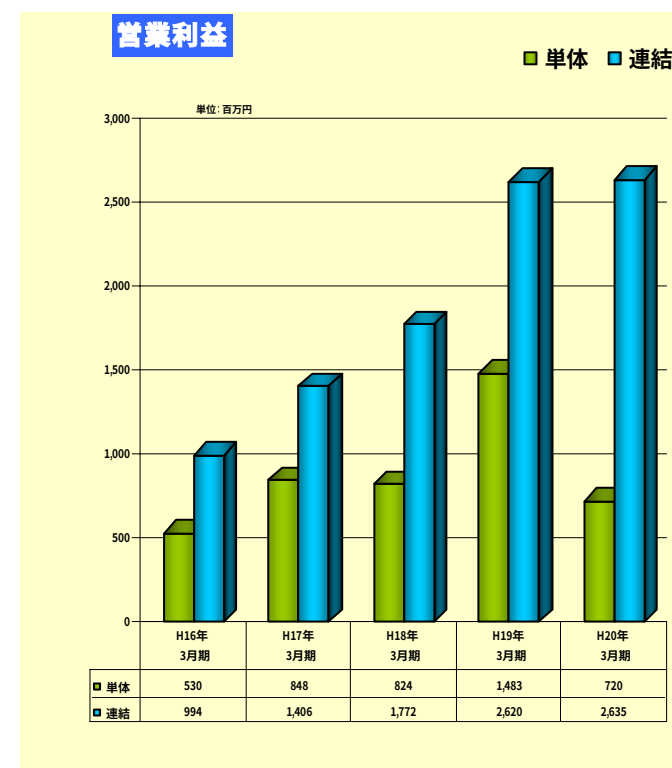
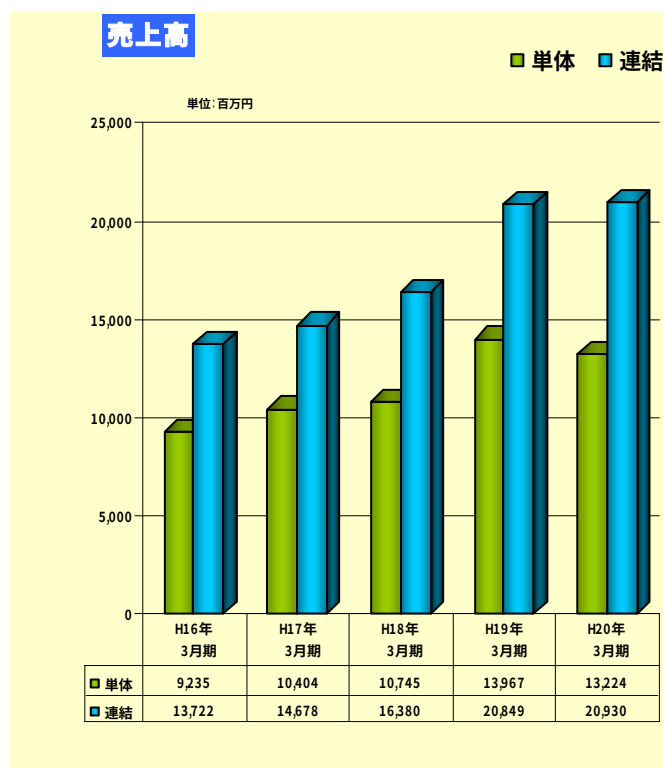
このような環境のもとで、当社グループは顧客のニーズに応じて、タッチパネル操作で好評を得た普及型デジタルプリンタ KIP3000 の後継機として KIP3100 を投入し、厳しくなる企業間価格競争の中で市場の拡大に努めてまいりました。また、世界初の大判型普通紙 LED フルカラープリンタ KC80 の販売を開始し、新たな市場への進出も積極的に推し進めてまいりました。

しかし、世界経済の急速な減速に伴い輸出が減少したことや、急激な円高による影響を受け、当社グループの当第 3 四半期連結累計期間の売上高は 130 億 70 百万円となりました。

利益面につきましては、売上の減収と第 1 四半期から第 2 四半期にかけての原油高の影響による原材料価格の高騰で、当第 3 四半期連結累計期間の営業利益は 11 億 81 百万円となりました。

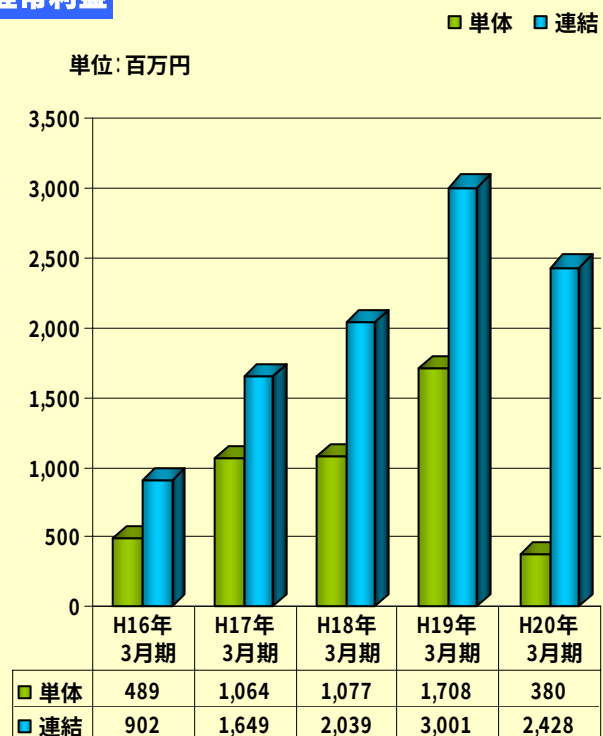
当第 3 四半期連結累計期間の経常利益は 8 億 33 百万円、四半期純利益は 2 億 49 百万円となりました。

業績推移(単体／連結)

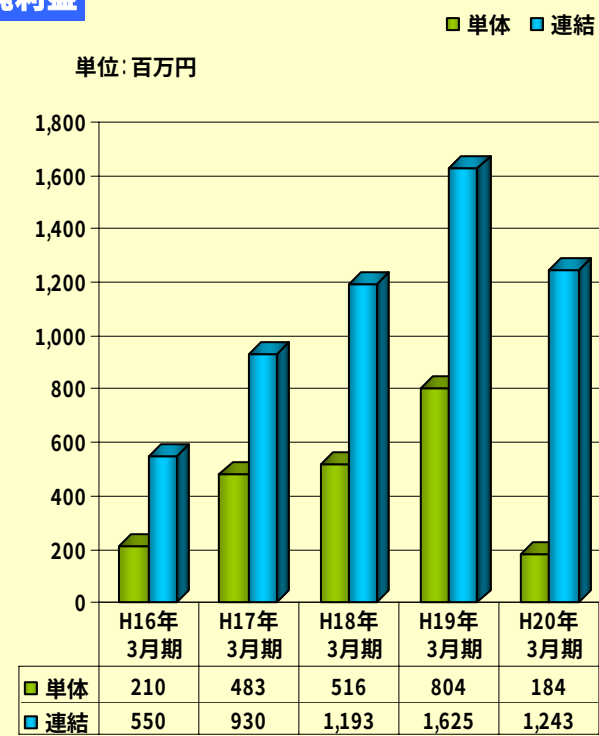


業績推移(単体／連結)

経常利益

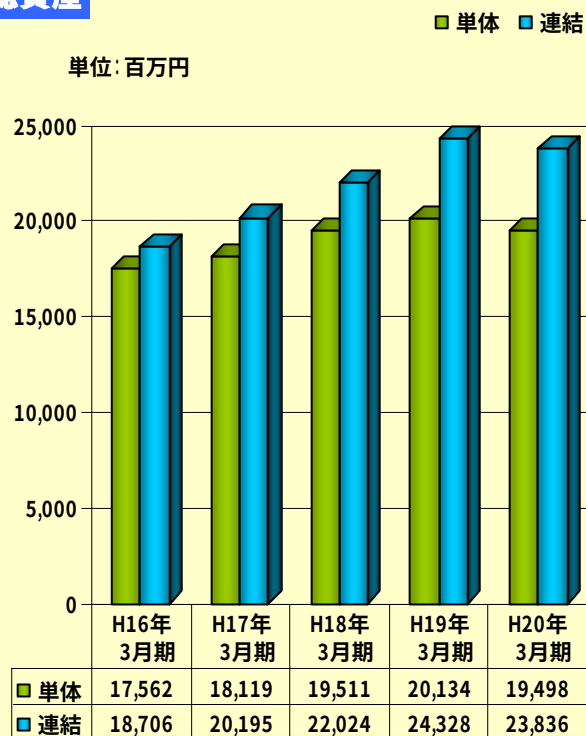


純利益

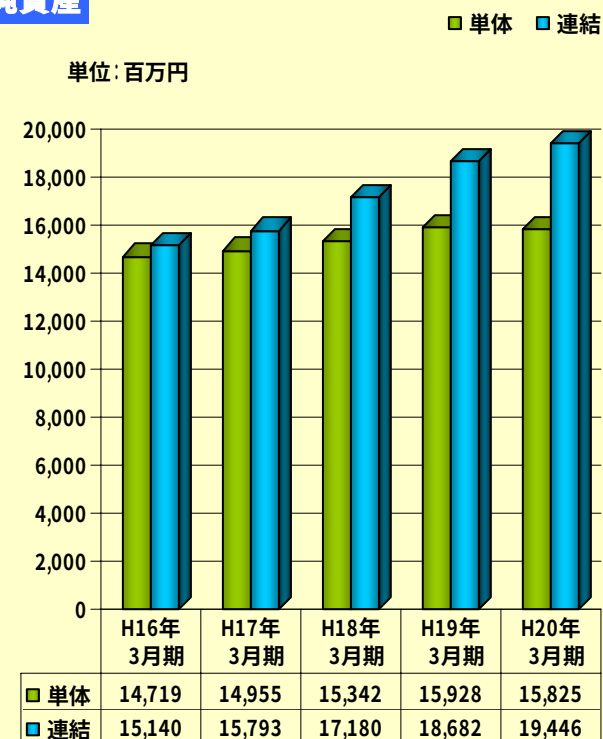


財 政 状 態 推 移 (単体／連結)

総資産



純資産



会 社 概 要

社 名 桂川電機株式会社
本 社 東京都大田区矢口1-5-1
実質本社 東京都大田区下丸子4-21-1
代表取締役社長 渡 邊 正 禮
会社設立 1954年2月
JASDAQ 1991年9月
資本金 4,651百万円
社員数 単体237名 連結522名

関連会社

株式会社ケイアイピー
KIP America, Inc.
KIP Europe S.A.
KIP UK Ltd.
KIP (Hong Kong) Ltd.
KIP Business Solution Korea Ltd.
桂新電機株式会社
台湾三桂股份有限公司
株式会社三桂製作所

1991 年 JASDAQ に店頭公開

1996 年 品質マネジメントシステム ISO 9002 認定取得

2003 年 品質マネジメントシステム ISO 9001・2000 認定取得

2004 年 環境マネジメントシステム ISO14001 認定取得



会 社 理 念

自然を大切にした製品づくり、そして自然と共に生きること。

それが、私たち桂川電機の創業から現在へと続く理念です。



デジタル機器、複写機、マイクロモーター。

現在、当社の3つの主要事業分野は常に時代の先端から生まれました。先端技術を駆使することを余儀なく求められるこれら技術を開発するにあたり、その根底には自然との共生理念が脈々と受け継がれてきました。

技 術 ・ 商 品

当社は、設立以来、今日に至るまで、電気釜、電気トースター、マイクロモーターなど独自技術による商品を世に提供し続けて参りました。今日では、当社製品は、K I Pブランドとして大判複写機、大判プリンタなどデジタルソリューションの分野において確たる好評と信頼を受けております。

また、当社のマイクロモーター製品は自動車分野をはじめ、多々のメーカーに多様な用途の製品を提供し続けています。

例えば、複写機・プリンタは、従来は廃棄トナー（現像剤）の発生が避けられないものでしたが、当社が開発した HDP（High Definition Print Technology）は、従来に比して更に良質の画像を提供できると共に、廃棄用トナーの発生を抑止するという効果を奏するものです。また、当社が開発した静音性に優れ、小型高出力な直動式モーター（S M-Motor）は、自動車シートの位置調整など幅広い分野で活躍しています。



ご高覧ありがとうございました。

わが国経済は、世界的金融危機が実体経済に波及し、企業収益の急速な悪化は設備投資の大幅な減額と雇用情勢の悪化で、景気の後退局面が一段と顕著になりました。また、原油価格等資源価格は低下してまいりましたが、急激に進んだ円高により、輸出産業を中心に、さらに企業収益が圧迫してまいりました。

このような中、当社グループといたしましては、新規の製品開発に力を入れ、付加価値の高い製品を市場に提供して、競争力のある製品を継続的に適時に提供して、市場の拡大に努めてまいる所存です。